

会報

冬
No.176

2017.1

一般社団法人北海道電業協会



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局 営繕部長 清 水 侯 二 …1

平成29年の新春を迎えて

(一社)北海道電業協会 会長 大 房 孝 宏 …2

法人職務執行者就任ご挨拶……………3～4

平成28年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会 ……5

新春特集 アイススレッジホッケー日本代表キャプテン

須藤 悟さんにインタビュー ……6～9

平成28年度 経営者懇談会・セミナー……………10

平成28年度 経営者懇談会……………11

平成28年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会……………12

平成28年度「公共建築の日」イベント……………13

ーシリーズー 1/212だより

・もち米作付面積日本一のまち～名寄市～

名寄市長 加 藤 剛 士 ……14～15

・笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっぷ～新冠町～

新冠町長 小 竹 國 昭 ……16～17

電気設備施設見学会……………18

ーシリーズー「私のいちおし」

橋本電気工事(株) 専務取締役 橋 本 佳 明 ……19

現場からこんにちは……………20

厚生委員会行事報告

歌唱部会……………21

ボウリング部会……………22

ゴルフ部会……………23

業界だより、理事会・委員会報告……………24～26

事務局日誌……………27

編集後記



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局

営繕部長 清水 侯 二 (しみず こうじ)

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、国土交通省における北海道開発行政、とりわけ官庁営繕行政の推進にあたり、平素よりご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進が図られるよう、国家機関の建築物等の整備に関する業務と、国の出先機関に対して保全指導を行う等の業務を行っております。官庁施設については、老朽化した施設が今後増大していく中、既存施設の最大限の活用を図りつつ、災害に対する国民の安全・安心の確保等に的確に対応することが求められております。このため、平成29年度の官庁営繕概算要求にあたっては、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等を図る防災・減災対策や官庁施設の老朽化対策等を推進することに重点をおいております。

防災・減災対策としては、従前から取組んでいた官庁施設の耐震化をさらに進めるとともに、地域と連携した防災拠点となる官庁施設の整備を推進し、新たなまちづくりやにぎわいの創出等に寄与することで、地域の活性化にも積極的に貢献することとしております。

老朽化対策としては、インフラ長寿命化基本計画において、戦略的な維持管理・更新を行うことが重要とされており、既存官庁施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、ハード・ソフトの両面から官庁施設の長寿

命化を図ることとしております。

防災・減災対策の観点から、災害応急対策活動にあたっては電力の確保が必要不可欠であり、その施工を担う立場から、電気設備関係の企業・技術者の役割はますます重要となっております。また、長寿命化という観点からは、修繕・改修工事を実施するにあたり、新築とは異なる技術力やマネジメント能力が求められますので、皆様の持つ力を一層発揮していただくことを期待しております。

工事の発注に関しては、品確法に基づき、担い手の中長期的な育成・確保のための適正な利潤が確保できるよう適正な予定価格の設定を行い、見積活用方式の採用、工事書類の簡素化等にも取組んでおります。さらに、昨年より入札時積算数量書活用方式の試行についても取組んでおります。

また、国土交通省では、建設業の取引の適正化の推進や建設労働者の就労環境の改善と適正な競争環境の整備を図るため、社会保険等への加入状況の確認・指導、元請建設業者と一次下請建設業者を社会保険等加入企業に限定する等、社会保険等への加入の徹底に向けた取組を実施しております。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、北海道の将来にとって希望の年となりますよう祈念するとともに、皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成29年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 大房 孝 宏

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、著しく変化する社会情勢下ではありますが、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、道内では3月に北海道新幹線が開業し、北海道から九州まで初めて新幹線がつながった記念すべき年となりました。また、カーリングの国際大会やリオ五輪での道産子の活躍、日本ハムファイターズのシリーズ制覇、コンサドーレ札幌のJ2優勝（J1昇格）など、道内スポーツ界の明るい話題に多くの道民が勇気づけられた一年となりました。

他方、例年にも増して、自然の脅威を感じた年とも言えるのではないのでしょうか。国内では熊本地震、鳥取地震のほか阿蘇山の噴火、最近では東日本大震災後の最大余震や太平洋沿岸への津波の発生、そして道内におきましても、8月以降、度重なる台風の上陸・接近による記録的な大雨に上川、十勝地方をはじめとして多くの被害が発生いたしました。社会基盤整備の一翼を担う設備業界においても、この予期しえない自然災害への対処や公共施設等の防災機能の強化に行政や関係団体の皆さまと緊密に連携して取り組んでいかなければなりません。

一方、4月から電力の小売全面自由化がスタートしました。2020年には送配電部門の法的分離も予定されております。電気設備工事業界としても一連の電力システム改革の動向を注視していくとともに、電力の供給事情の変化や節電のニーズに的確に対応していくことが必要となります。

さて、北海道経済は、住宅建設の持ち直しや公共事業の増加などを背景に、緩やかな回復が続い

ております。しかしながら、建設産業においては、長年の建設投資の減少と激しい受注競争の中で就労環境が悪化し、人材不足が顕在化してきており、今後の受注や工事計画に与える影響も懸念されております。

特に、技術者・技能者不足は、電気設備工事業界においても社員の高齢化、若年入職者の減少によって長年培われてきた技術・技能をいかに的確に承継していくかが喫緊の課題であり、業界の魅力を高め、優秀な人材を確保していく取り組みが必要と考えます。申し上げるまでもなく、我々電気設備工事業界には電気設備の設置とその保守管理などを通じて、北海道の産業・経済や道民生活に直結するライフラインを担い、顧客に対しては良質な設備を提供するという重大な使命があります。

我々は、その使命を全うするため「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」、「適正な価格と適正な工期での受注の確保」、「工事の品質と価格の透明性を確保し、顧客に満足度の高いサービスを提供する分離発注の推進」、「電力供給事情の変化と節電ニーズに対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に貢献」を活動目標に、今後とも会員が一丸となって知恵を出し、力を合わせて「夢と生きがいのある電気設備工事業界」を目指して諸課題に挑戦していきましょう。

結びに、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

就任ご挨拶



浅海電気(株)札幌支店
支店長

栗原 健治

新春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年の10月1日付で前支店長の松澤 祥二の後任として札幌支店長に就任いたしました栗原 健治でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には格別のご高配を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

経験不足ではありますが、会員の皆様よりご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会の発展と業界の繁栄のために微力ではございますが最善を尽くす所存でございます。前任者同様宜しくお願い致します。

当社は大正4年（1915）に個人商店「浅海商

会」として大阪で創業し、総合電気設備工事会社として、本年3月で創業102年を迎えようとしております。昭和30年（1955）に社名を現在の「浅海電気株式会社」に改称しました。

札幌支店は昭和29年（1954）9月に営業所として開設され、昭和54年（1979）12月に札幌支店となり、現在に至っております。本年9月にて開設以来62年を迎えようとしており、私で11代目の支店長となります。

私事ではありますが、東京で生まれ育ち、平成2年（1990）東京で入社し以来27年、経理、営業を担当しておりました。今回が初めての転勤、単身赴任生活となります。何もかも初体験が多く、不慣れな事ばかりで、皆様にはご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、何卒ご指導の程、宜しくお願い致します。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



振興電気(株)北海道支店
支店長

山 上 幸 夫

新春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。

この度、平成28年10月1日付で前支店長 浦本 泰男の後任として北海道支店長に就任いたしました山上 幸夫でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。今後とも、会員の皆様のご支援、ご鞭撻を賜り、協会の発展に微力ではありますが精一杯努めさせていただきますので、前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は、昭和13年創業以来、電気設備工事の設計・施工を中心として堅実経営を基本に2年後には80周年を迎えます。75周年時には企業CI（社

章）とタグラインを刷新致しました。

「Connecting through Messages」あらゆるモノとコトとヒトをつなげコミュニケーションの活性化と絆を強める（簡略）＝当社の使命と決意を表したものです。

また、北海道には昭和27年7月に営業所として開設以来、今年で65年目となります。今後は、2020年を大きな節目としてさらなる発展を目指しておるところでございます。

私事ではありますが、昭和58年入社以来の東京勤務から新天地として北海道に初赴任いたしました。インバウンドなどの観光事業を中心に建設業の活況が見込まれる北海道で様々な用途の事業に取り組み、ひいては北海道の発展に寄与できますよう努めて参りたいと思います。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



サンワコムシス
エンジニアリング(株)
北海道支店 支店長
山崎 裕司

新春の候、会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、7月1日付で前支店長 大竹 央典の後任として北海道支店長に就任いたしました山崎 裕司でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。

経験不足な面はありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会ならびに業界の発展のために微力ながら最善を尽くす所存でございますので、何卒宜しくお願いいたします。

当社は、情報通信技術（ICT）を支える総合エ

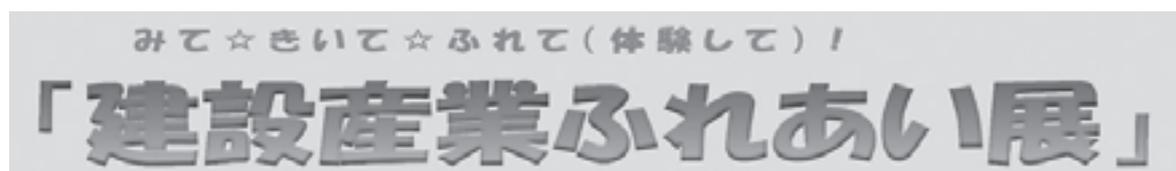
ンジニアリング企業として創業以来、半世紀以上にわたり培ってきた技術力を駆使し、情報通信・社会インフラの構築に貢献してまいりました。

この北海道においても情報通信・電気設備・環境エネルギーの分野で、コンサルティングから提案・設計・施工・運用・メンテナンスまで、お客様に最適なトータルソリューションをワンストップで提供してまいります。

私事ではありますが、初めての北海道勤務となり、この雄大な大地で自然を感じながら仕事に携わることには喜びを感じています。これからの北海道の発展と豊かな生活を支える社会基盤づくりに貢献できるよう努めてまいりますので、皆様のご指導の程宜しくお願いいたします。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

28年度



開催 期間

平成29年 1月14日(土)10時～16時
15日(日)10時～16時

開催 会場

札幌駅前通地下歩行空間
(大通から北3条までの各広場で開催)

催し 内容

ものづくり クイズラリー パネル展他
※北海道電業協会の内容
くだもの電池・エジソン電池・延長コードづくりの体験

平成28年度北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成28年10月17日(月)北海道電気会館において、当協会と（一社）北海道空調衛生工事業協会との共催（電気・空衛連絡協議会）で、北海道開発局営繕部の清水 侯二部長をはじめ9名の幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施しました。

当協会からは大房 孝宏会長他11名、北海道空調衛生工事業協会からは池田 薫会長他11名が出席しました。

はじめに当協会の大房会長から「業界において、若手技術者、技能者の確保と育成などが一層深刻な問題となっております。業界の魅力を高める努力を重ね入職促進と技術の継承に努めてまいります」と協力を求めました。

引き続き北海道開発局の清水部長から「品確法に基づき適正な利潤確保に取り組むとともに、営繕工事で取り組んでいる入札時積算数量書活用方式など、さまざまな取り組みに関し、情報提供していきます」と挨拶されました。

この後、意見交換会では北海道開発局営繕部の担当の皆さまから議題について詳細な説明がありました。

協会からは①分離発注の継続のお願い②安定的な工事量の確保についての2項目を要望いたしました。これに対し営繕部から①について「施工責任、工事に係るコストの明確化が図られ、施工工事業者の育成に資するもので従来から実施してい

ます。工事内容の規模や地域等の諸条件を勘案しながら推進してまいります」

②について「官庁施設の整備は、老朽化した施設が今後も増加していく中、既存施設の有効利用を図りつつ、災害に対する国民の安心・安全の確保などに適確に対応することが重要と考えております。また防災拠点となる官庁施設の防災機能などを図ることや、施設の長寿命化の推進に重点を置き、予算の確保に努めていきたい」と回答をいただきました。

【主な議題】

1. 平成28年度 開発局営繕事業の概要
2. 社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインの改定について
3. 営繕部における総合評価落札方式（修正点）
4. 営繕部における円滑な施工体制確保の取組み
5. 要望事項などについて

【発注情報お知らせメールの配信について】

原則、入札公告日（または公告日）に、①工事名称または業務名称②工事種別、工事の等級区分、施工場所または業務種別③技術資料（工事）参加表明書（業務）の提出締切日が配信されます。詳細は北海道開発局営繕ホームページを参照ください。

HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/10.html>

新春特集

アイススレッジホッケー日本代表キャプテン 須藤 悟さんにインタビュー



平成28年11月29日 V S スロバキア戦

(インタビュー)

- ◇日時 平成28年11月30日(水) 10時～11時
- ◇場所 グランドホテルニュー王子 竹の間



須藤 悟 選手
苫小牧市出身 (46歳)
クラブチーム「北海道ベアーズ」

(萩本委員長)

本日は、一般社団法人 北海道電業協会の会報誌「新年号の取材」ということで、世界選手権の最中に取材をお受けいただき誠にありがとうございます。須藤さんには、アイススレッジホッケー日本代表チームのキャプテンとして、また須藤さん自身のこれまでご苦労されたこと等をお伺いしアイススレッジホッケーの魅力などを紹介したいと思っていますので限られた時間ですが、どうぞよろしくお願い致します。

(小笠原副委員長)

アイススレッジホッケーの歴史について、いつ頃どのような形で始まったのか教えて頂けますでしょうか。



◇須藤さん

もともとスウェーデンとかノルウェーの方で、古くから行われていた競技です。下肢に障がいを持ってアイスホッケーができなくなった人たちが、工夫をしてアイスホッケーを

行えるように改良されたのが、もともとの始まりだったらしいです。それが1960年頃とか一応言われてはいるみたいですけど、はっきりはしていません。スポーツ競技としては1994年リレハンメルパラリンピックで正式競技となり、1998年長野パラリンピックで日本が初出場したのが、

日本チームとして初めての大会でした。2010年のバンクーバーパラリンピックで銀メダルを獲得しております。

(小笠原副委員長)

今、国内の競技人口はだいたいどのくらいでしょうか？

◇須藤さん

選手となると年々競技者が減っていて、多分50人前後でしょうか。国内で実質活動しているのは北海道、東京都、長野県にある3チームです。私の様な年齢になっても止められず、高齢化が進んでおります。(会場笑)

(小笠原副委員長)

年齢は何歳ですか？

◇須藤さん

46歳になりました。今大会、日本チームの平均年齢は平均38歳くらいだったと思います。毎回、パラリンピックの時にこういう計算をしますが、4歳ずつ平均年齢が上がっていきます。他の競技団体と同様に若手がなかなか入ってきません。

(小笠原副委員長)

外国チームの方は若い人が入っているのでしょうか。

◇須藤さん

アイスホッケーがメジャーな北米では若い選手が多いです。アメリカチームの平均年齢は多分20歳くらいですね。

(小笠原副委員長)

女子チームは日本にはないのですか？

◇須藤さん

日本にはないですね。アメリカ、カナダなどの先進国では女子代表チームを持っています。

(成瀬副委員長)

長野の参加が7チーム、ソルトレークが6チーム、トリノとバンクーバーは8チームとなっていますが、平昌での参加チーム数はもう決まっておりますか？

◇須藤さん

これからです。強いAプールとBプールに分かれていて、A・Bプールそれぞれ8カ国にする予定です。今、私たちはBプールです。世界ランキングでは10位くらいですね。

Aプールの下位2チームとBプールの1位、2位のチームで入替え戦を毎回、世界選手権で行っています。今回の世界選手権大会は日本チームがAプールに戻るための大会でもあります。また次の平昌大会の予選という位置付けにもなっています。今回上位に入らないと、最終予選にも出場できない状況になってきます。

(※今大会の結果2位により、Aプール昇格と、2017年秋の平昌最終予選への出場権を得ました！)

(成瀬副委員長)

アイススレッジホッケーは大変激しいスポーツですか、怪我とかすることはありますか。

◇須藤さん

パラリンピックでは選手保護という意味もあるのだと思いますが、メジャーな競技である車椅子のバスケットボール、ウィルチェアーラグビーでは車椅子同士の接触が認められていますが、アイススレッジは体同士の接触が認められている唯一の競技なので怪我は多いです。

防具は付けておりますが、怪我はしょっちゅうです。(笑)

(木村委員)

試合後の肉体的な消耗度というのはかなりのものですね。

◇須藤さん

非常に体力は使います。普通のアイスホッケーというのでも、30秒シフトで一回出て、ほとんど息止めて帰って来るくらいのシフトチェンジです。アイススレッジホッケーもそういう感覚で行くので、1シフトですべて出して帰ってきて何十秒か休んでまた行くっていう、出たり入ったりのはげしい競技です。

(木村委員)

試合中の選手交代の順番は決まっていますか。

◇須藤さん

一応、ポジションがありまして、私の場合はディフェンスですけど、フォワードとディフェンスと大まかに分かれています。帰ってくる選手がフォワードだとフォワードの選手を出します。本来何十秒で交代しなきゃいけないのを、15分フルで出っぱなしとかも状況によってはあります。

また、試合経過やチーム事情もあります。今がチャンスだとなれば、ファーストセット（点取りに行くセット）を出して、5人が、今行け！とか、相手の守りに重視したチームの人に対して攻撃力のあるセットを当てたりします。

(佐藤委員)

普段、試合がない時はどのようなトレーニング、練習をしていますか？

◇須藤さん

代表チームとしての練習は、長野県岡谷市にあるナショナルトレーニングセンター内スケートリンクで2週間に1回程度、月に2回くらい行っています。

私はさらに北海道のチームとして2週間に1回、苫小牧や札幌で練習しています。氷だけじゃダメなので、オフアイスの場合ではトレーニングジムに通っています。脚は使えない競技なので、基本的に、上肢のトレーニングが中心になりますね。



(佐藤委員)

スレッジ（ソリ）に乗れるまで、どのくらいかかりますか。

◇須藤さん

私が始めた10数年前は、スレッジが汎用品といったら変ですけど、誰でも乗れるように適当に作られたもので、スチール製で重いんですよ。当時は乗るのも大変でしたね。今は、障がいに合わせて改良が進んできたのと、材質も軽いアルミ製がメインになってきています。国内では販売されていないので、今は専門メーカーがあるアメリカ、カナダから輸入したのを使っています。

スティックは、以前は選手が木を削り出して作っていたりかしていましたが、今は専用スティックとしてカーボン製で軽いものを海外から輸入しています。



(佐藤委員)

チーム、個人としての目標をお聞かせください。

◇須藤さん

私は過去にパラリンピックに何度か出させていただいています。パラリンピックに出たことのない選手がチームの中で増えてきています。私は出たことのない人たちのお手伝いをして、もう1度、チームのメンバーと一緒にパラリンピックに出たいというのが目標になっていますね。

(十日市委員)

キャプテンとして、気をつけていることと、日本代表チームの強さ、今後の課題についてあればお聞かせ下さい。

◇須藤さん

キャプテンマークは付けさせてもらっていますが、基本的にほとんど私は何もしていません。もう何年も同じメンバーでやっていますので、だいたい何を考えているかお互いにわかるような感じなんですよ。

気になっているのは、普段と違うことをし始めると、なんか普段通りじゃないなって気になりますので『どうした?』って声をかけることはあります。

普段と全く違うこと、自分でルール作っちゃったりする人とか出てくると、確実に崩れますね。普段、音楽なんか聞いてないのに、集中したいからってみんな耳にイヤホンはめたりすると「やめろ、やめろ」って言いますね。(会場笑)

普段やらんことやったって無理無理。そういう風な感じですかね。

(十日市委員)

アイススレッジホッケーを始めるきっかけは、どんなことでしたか。

◇須藤さん

20歳の時に機械に挟まれて、両下肢切断したのですけど(今、義足つけたりして歩いています)、入院当初は、何ができるのかわからないし、『明日をどうやって生きて行こうか』と絶望的に思っていました。それが退院し職場復帰し、あ

る程度落ち着いてきた時に、私はもともと野球とかスポーツするのが好きだったので、何かしたいなと思っていました。

車椅子にうまく座れないのでバスケットボールは好きじゃなかったですね。マラソンは大嫌いですし!生まれ育ちが苫小牧市なので、アイスホッケーは身近にあったスポーツなんですよ。たまたま実家に帰ってきた時に、親から「苫小牧の地元紙に、長野パラリンピックを目指している北海道チームの選手が載っているよ」と掲載記事を見るとアイスホッケーと全く同じルールで、スレッジに乗ってスティック2本を操って、アイスホッケーをする競技内容を読んで、『あ!これならできるかもしれない』と思い新聞社から教えてもらった連絡先に電話をかけて『競技をやりたいけど、どうしたら良いですか?』と聞くと、電話の出た方が『苫小牧拠点だけど、札幌でも月1回やっているから見に来たらいいよ』と、私はその時は札幌在住だったので練習をすぐ見に行ったのがきっかけですね。

(十日市委員)

食事等に気をつけていることってありますでしょうか。

◇須藤さん

チームには、食事をサポートしてくれる先生はありますが、一応、歳もとっていますので、ある程度わがままが効くので「ストレスが溜まるよりは好きなもの食わしてくれ!」と、基本的に好きなものを食べています。(笑)

(大塚委員)

日本代表チームのスローガンで「**Respect (リスペクト) and Connect (コネクト)**」と書かれていますが、これはどういった感じでみなさんに浸透させるということでしょうか。

◇須藤さん

チームの監督が、英語堪能な方で、そういう難しいスローガンが大好きなんですよ。その意味



は、チームみんなが知った仲なので「みんなが尊重して」コネクト～繋げるっていう部分でいえば、いろんな意味があって「次のパラリンピックに対しての繋げる」という意味であったり「勝ちを繋げる」とか、いろんな意味をもたせています。毎年、難しいスローガンが出てきます！（会場笑）

（大塚委員）

チーム名のサブタイトルはあるのですか？サムライジャパンとか。

◇須藤さん

いやぁ全然ないです。おこがましくてそんな。（笑）

（細野委員）

選手の中でオフシーズン、他のスポーツと兼任されている方はおりますか。

◇須藤さん

兼務している人はほとんどいないと思いますが、趣味程度でやっている人はいますね。私も他の競技をやってみたいと思いますが、中々その時間がありません。



（細野委員）

費用がかかる競技だなんて気もしますが、スポンサー企業とかそういうのはありますか

◇須藤さん

チームが強ければスポンサーとして出資はしてくれると思いますが、現状はチームがAプールからBプールに降格した段階で、強化費はないし、スポンサーも勝てないチームにお金を出してくれるほど日本の経済は豊かではないですよ。

今、協会スタッフが一生懸命頑張ってくれているので、何とかできていますが、自転車操業状態ですね。

（成瀬副委員長）

最後に日本アイススレッジホッケー協会のホー

ムページを見ましたら、いくら募金したら何々をあげますってというのが掲載されていましたね。

◇須藤さん

去年の取り組みですけど、クラウドファンディングって新しい仕組みで、インターネット上に募金というか「こういうことをやりたいけどお金がないです、何とかお願いします」って言った時に、いろんな人からお金を寄付していただいて、去年はそれで大会を一つ開催することができました。

（萩本委員長）

それでは予定時間となりましたので終わらせていただきます。

須藤さん自身と日本チームが2018平昌パラリンクに出場し、メダルを手にするをご祈念しております。須藤さん、長時間ありがとうございました。

アイススレッジホッケーは、下半身に障がいを持つ者がアイスホッケーを行えるように改良されたスポーツで、スレッジと呼ばれる専用の「そり」に乗り、両手にステックを持って競技します。

アイスホッケー同様、氷上の格闘技と呼ばれています。

基本的にアイスホッケーと同じですが、1ピリオドはアイスホッケーの正味20分に対し、アイススレッジホッケーでは15分。3ピリオドを行い、決着がつかない場合は、10分の延長戦を行うかペナルティショットによって決着をつけます。

メンバーはゴールキーパーを含めて15名までとなっています。



須藤さんと広報委員で記念写真！

（広報委員出席者）

萩本委員長（三共電気工業株）・小笠原副委員長（株ドウデン）・成瀬副委員長（東光電気工事株）・大塚（北盛電設株）・木村（北海道タツワ電気株）・佐藤（北海電気工事株）・十日市（株北弘電社）・細野（橋本電気工事株）・類家（事務局）

平成28年度経営者懇談会・セミナー



平成28年11月8日(火)札幌グランドホテルで「平成28年度経営者懇談会・セミナー」を開催し、会員代表者など71名が聴講しました。

はじめに、大房 孝宏会長が挨拶し、電気設備工事業を取り巻く事業環境にふれた後「本日のセミナーでは、『アンガーマネジメントが築く安全・安心な職場！～怒りと上手につき合う術』と題して、(株)エムサイトの齊藤 三雄講師をお招きしております。経営のトップにおられる方や職場の中核におられる方々が、職場での良好な人間関係を築くための一助となればと考えておりますので熱心なご聴講をお願いします」と述べました。



齊藤講師

セミナーの概要

人間は感情の生き物とされています。特に強い感情である「怒り（アンガー）」は人間の関係性や行動に大きく影響します。怒りに正しく対処できなければ、組織内で不要な軋轢、衝突を引き起こし、人間関係を損ない、生産性や安全性を大きく低下させる要因にもなります。

怒りの感情を適切にコントロールする「アンガーマネジメント」は職場のコミュニケーションを活性化し、人間関係の改善、安全・安心な職場作りに役立ちます。

「怒り（アンガー）」とは単に「怒り」ではなく、悲しみや悔しさ、いらだち、不安、不満や劣等感など否定的感情の総称です。

【齊藤 三雄講師プロフィール】

1975年日本電信電話公社後、ネットワーク設備の設計・建設・保守、通信自由化、経営企画、人事・育成、営業など様々な業務に従事、2003年以降、NTTグループ会社の支店長など組織長を歴任、2014年、(株)エムサイトを立ち上げ、コミュニケーション、ヒューマンエラー対策など実務に役立つ持続性のある研修を展開中。

平成28年度経営者懇談会



平成28年11月8日(火)経営セミナーに引き続き「平成28年度経営者懇談会」を会員代表者など48名が参加して開催されました。

懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として毎年開催しています。



大房会長

始めに大房 孝宏 会長から長期にわたって厳しい環境に耐えてきた建設業界では“現場の技能者不足”や“将来の担い手が確保できない”といった多くの問題に直面しています。私ども電設業界でも、少子高齢化が進む中で、どのようにして人手不足を補い、どのような形で長年培われてきた技術や技能を継承していくのか、喫緊の課題として取り組まなければならないと考えています。教育機関との連携や魅力ある業界の発信、また、福利厚生など労働環境の改善に努めながら新人の採用・確保に取り組むとともに、仕事の効率化、生産性の向上に一層努力していかなければならないと、挨拶されました。

始めに大房 孝宏 会長から長期にわたって厳しい環境に耐えてきた建設業界では“現場の技能者不足”や“将来の担い手が確保できない”といった多くの問題に直面しています。

つづいて、宇野 徹専務理事の司会で議事進行となりました。(議事次第参照のとおり)



【平成28年度 経営者懇談会次第】

1. 関係官公庁との意見交換会の開催概要について
2. 平成28年度会員大会決議事項等について
3. 当協会の検討課題について
4. 連絡事項
 - ・実技講習会について
 - ・平成29年電気賀詞交歓会のご案内について
5. 各地区協会の活動近況報告
6. 協会事業に対する意見・要望事項

懇談会談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図りました。



宇野専務理事

平成28年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成28年10月29日(土)～30日(日)の2日間、北海道電気会館において、登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から52名が受講しました。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会です。

合格者の公的評価は、受講条件として第一種電気工事士の資格取得者としているためにZ点評価(経営事項審査の中で技術力を評価する項目)は第一種電気工事士で2点、登録電気工事基幹技能者資格で1点の加点となります。

初めに当協会の宇野専務理事から「現場では施工方法の実情に精通し作業管理や調整能力を持ち、他の職長と連絡・調整を担う役割が大切です。このため技術者に対して適切に指導・統率できる登録電気工事基幹技能者の確保と育成が求められております。講習会を通じて施工管理などの知識を十分に理解し、最終日の試験には全員合格して欲しい」と呼びかけました。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定

講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義しました。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事
宇野 徹
2. 電気工事基幹技能者の概要
電気工事における新材料・新工法等
中村 淳一 氏
(北海電気工事(株) 電設工事部部長代理)
3. OJT教育
宮森 慎一 氏
(拓北電業(株) 取締役工事本部長)
4. 施工管理・事務管理・原価管理、関連法規他
内山 優 氏
(株)北弘電社 技術部担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
宮森 慎一 氏
(拓北電業(株) 取締役工事本部長)
6. 品質管理・環境管理
小川 恒明 氏
(協信電気工業(株) 取締役工務部長)



中村講師



内山講師



宮森講師



小川講師

平成28年度「公共建築の日」イベント

「公共建築の日」フェスティバル2016 in モエレ



このイベントは、北海道開発局が主催し北海道、札幌市、各自治体や当協会など各種団体が後援しております。

趣旨は、地域生活に密接に関わっている公共建築が果たしている役割などを、市民の幅広い層を対象に、参加型イベントを複合的に開催する事で、公共建築に理解と関心を持ってもらう事を目的として毎年開催されています。

当協会からは4名のスタッフが、10月15日(土)に開催された「ものづくり体験コーナー」に参加しました。このコーナーは、コンセントの延長コード作りと、電線を使って昆虫やメガネなどを自由に作ってもらい、持ち帰ってもらう事で、子供たちに建築設備に少しでも興味を持ってもらうことを目的に実施しています。

また、参加型イベントとして「ダンボールシティー」では、家庭ではできない大きな建物づくりを行うことで、作成の楽しさから建物にも興味をもってもらうことを目的として、開発局・後援団体が担当して実施しています。さらに公共建築をより身近に感じてもらうことを目的にフォトコンテスト展も開催されました。

【開催日時】 平成28年10月15日(土)

【場 所】 札幌市東区モエレ沼公園
ガラスのピラミッド内

【参加スタッフ】

(株)北弘電社

・十日市 樹・友重 陽介

北海電気工事(株)

・越智 泰之・前田 秋次郎

(参加スタッフの皆さまお疲れさまでした！)





もち米作付面積日本一のまち ～名寄市～

名寄市長 加藤 剛 士



■まちの紹介

名寄市は北北海道の中央に位置し、天塩川と名寄川の恵みと豊かな自然にあふれた環境にあるまちです。

夏冬の寒暖差が60℃にもおよぶ気候で、夏には市内各所でたくさんのひまわりが咲き誇り、冬にはサラサラのパウダースノーが降り、ウィンタースポーツを楽しむことが出来るほか、「雪質日本一フェスティバル」など寒さを活かした魅力あるイベントが開催されます。



基幹産業は農業で、「もち米」は作付面積日本一。その面積は3,029ヘクタールで、生産量は道内の3分の1を占めています。名寄のもち米は作付面積だけでなく品質の良さも評価され、「伊勢の赤福」や平成26年9月から発売されている本市の市役所女性職員がラベル製作などに協力した「純米本みりん」など全国のさまざまな商品に使用されています。そのほかに、夏には「太くて・軟らかくて・甘い」グリーンアスパラガス、秋には「甘くてほくほく」のじゃがいもやかぼちゃなども生産面積は全国有数で代表的な特産品です。

まちの設備としては、道北圏のセンター病院である「名寄市立総合病院」をはじめとする医療福祉施設、日本最北の公立大学である「名寄市立大学」なども整備され、安心安全に生活していくための基盤が整った、たくさんの財産に恵まれています。

■ご当地グルメ「なよろ煮込みジンギスカン」



「なよろ煮込みジンギスカン」は、たれに漬けたジンギスカンをたれごと野菜やうどんと一緒に煮込む名寄地方の昔ながらのジンギスカンの食べ方に着目して誕生したご当地グルメです。それを利用し名寄のPR活動を行っている「第746なよろ煮込みジンギスカン艦隊」は、平成26年からご当地グルメでまちおこしの祭典！B-1グランプリに出展しており、全国的にも名寄のご当地グルメとして広まってきています。

■まちの観光キャラクター「なよろう」



おもちと星が大好きで、大好きすぎて頭がもち米・体が鏡もちに！望遠鏡を持って、名寄のきれいな星空を毎日眺めています。

名寄市の知名度アップと観光を盛り上げるために2年前に誕生。さまざまなまちのイベントに参加して名

寄をPRしています。

■おすすめ観光スポット

①なよろ市立天文台 きたすばる

なよろ市立天文台きたすばるには、北海道大学が設置した世界最大級の惑星観測望遠鏡「ピリカ望遠鏡」があります。また、最新のデジタルプラネタリウムのほか、星の観望会、星を眺めながらのコンサートも楽しめる施設です。

(HP <http://www.nayoro-star.jp/kitasubaru/>)



②道立サンピラーパーク

森林・水・草原・花畑などがひろがる自然豊かな公園です。7月から8月にかけて小高い丘に咲き誇るひまわり畑は毎年多くの観光客が訪れます。また、敷地内のサンピラー交流館多目的ホールでは、11月～3月にかけて本格的なカーリング場がオープンします。



(HP <http://www.nayoro.co.jp/sunpillarpark/>)



③道の駅もち米の里☆なよろ

名寄の南の玄関口として豊かな田園風景にたたずむ道の駅です。地元産の農産品、名寄のもち米を使用した特産品の販売のほか、地元の食材を使ったレストランもあり、毎月さまざまなイベントが行われ、市内外の人々が集まり賑わっています。(HP <http://www.hokkaido-michinoeki.jp/michinoeki/2939/>)



■まちのイベント

①なよろ雪質日本一フェスティバル

毎年2月に開催される「雪質日本一」を誇る名寄市の冬の大イベントです。美しい雪の芸術が生み出される「国際雪像彫刻大会」を皮切りに、地元をはじめ市外からもたくさんのグルメが集う「星



★きれいな南市場」、雪の上での「ちびっこ運動会」「サッカー大会」などたくさんのイベントで名寄の冬を彩ります。



②なよろ産業まつり～もち米日本一フェスタ～

毎年8月下旬に開催される名寄の基幹産業「農業」を中心とした夏のイベントです。地元の農産品や加工品が大集合し直売会を行っているほか、もち米作付面積日本一のまちでもちつき名人を決める「もちつきチャンピオン決定戦」など名寄のまちならではのイベントが繰り広げられます。





笑顔あふれる “レ・コードなまち” にいかっぷ ～新冠町～

新冠町長 小竹 國 昭



平成28年春にリニューアルされた高さ30m・幅40mのサラブレッド大壁画

■まちの概要

新冠町は、北海道の南部・日高地方に位置する人口約5,600人の小さなまちです。

「にいかっぷ」の町名の由来は、この地は、はじめ「ピポク」(岩の陰)の名で呼ばれていましたが、この地に住むアイヌが楡の木を材料とした茶褐色の着物を着ていたことから、文化6年に「ニカプ」(楡の皮)に改められ、これに「新冠」の文字を当てて地名となりました。

新冠町は、競走馬(サラブレッド)の産地として知られており、日高山脈の主峰・ホロシリ岳に囲まれ、馬がのんびりと草を食む風景に多くの観光客が癒しを求めてやってきます。

新冠の馬づくりは、エドウィン・ダンが馬の改良のため、明治10年に新冠御料牧場を開いたのが始まりとされ、現在では、全国で活躍する競走馬の約8割を日高地方で生産しています。史上5頭目の3冠馬となったナリタブライアンなど、数多くの名馬を送り出しています。

軽種馬生産以外にも、新冠町は一次産業が盛ん

で、酪農、畜産、畑作、稲作など農業生産は多岐にわたっております。

特にピーマンは全道一の出荷量を誇り、道内だけではなく本州でも人気となっております。また、アスパラや水稲も食味が評価され年々売上げを伸ばしています。

また、近年は、肉牛の黒毛和牛の生産にも力を入れており、和牛センターや町有牧野において飼養管理技術の実証を行うなど、町をあげて質の高い和牛の生産にも取り組んでいます。



全道一の出荷量を誇るにいかっぷピーマン

■レ・コードによるまちづくり

新冠町では「レ・コードと音楽によるまちづくり」をコンセプトにまちづくりを進めています。

「レ・コード」の「レ/RE」にはリターンやリメンバーなどの意味があり、また、「コード/CORD」にはラテン語で「心」という意味があることから、『レ・コード/RE・CORD』で『心に返る・心の再生・心のふるさと』といった意味が含まれています。

当町は、他の町村と同様に、少子高齢化や人口減少問題、地域産業の低迷などの問題がありますが、そのような中でも「笑顔あふれる“レ・コード”なまちにいかっぷ」をめざし、各種まちづくり事業を進めています。



たくさんの人でにぎわうふるさと祭

■定住移住施策とレ・コードの森ニュータウン

新冠町の人口のピークは、昭和35年の1万1千人で、その後は、徐々に減り続け、現在は約半数にまで減少してしまいました。そこで、町では、この問題に取り組むため、平成19年から「定住移住プロジェクトチーム」を設置し、定住人口の確保に取り組んできました。

まず最初は、住宅用地を確保するため、新冠温泉にほど近い高台に、町内の民間企業と協力して宅地分譲地を整備しました。

次に「定住・移住促進補助金制度」を創設し、町内に住宅を建設する世帯に対し、さまざまな財政支援策を講じてきました。

このような取り組みの結果、平成19年に整備した70区画は全て完売、24年に新たに整備した21区画も間もなく完売となり、この地区の定住者数は76世帯244名となりました。

平成27年の国勢調査結果では、町の人口が5,592人と5年前より183名減少しており、減少率は△3.1%となっております。道内の町村の平均減少率である△6.7%と比較すると、減少率は低くなっており、これまでの定住・移住施策の成果が表れていると考えられます。



新しい住宅が立ち並ぶニュータウン

■豊かな自然と観光スポット

○判官館森林公園

判官岬から内陸に広がる約66haの広大な公園には、遊具やテニスコート、バンガローやキャンプ場などが整備され、自然豊かな遊歩道は、希少な動植物の観察スポットとして人気です。

○聴体験文化交流館「レ・コード館」

100年前の蓄音機のコンサート、3.4mの巨大スピーカーを使用したレコードコンサートなど、思い出と新たな発見がたくさん詰まったミュージアムです。500席の客席を有する町民ホール、図書プラザなども併設しています。

○新冠温泉「レ・コードの湯」

日高山脈を背景に雄大な太平洋を望み、四季折々の自然に恵まれ、心も体もリフレッシュできる天然温泉です。隣接する宿泊施設「ホテルヒルズ」では、地元の海の幸や季節の料理を提供し、客室からは自然豊かな眺望が楽しめます。



町民と観光客の憩いの場「レ・コードの湯」

電気設備施設見学会



電気設備施設見学会は会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、毎年実施しています。

今年も平成28年9月29日(木) (一社) 電気設備学会北海道支部共同で開催しました。

今回の見学場所は北海道電力(株)及び住友電気工業(株)と共同事業の「南早来変電所大型蓄電システム実証試験施設」(勇払郡安平町遠浅680番地)です。

当日は参加者39名が札幌駅北口に10時50分までに集合し貸切バスで出発。途中、苫小牧市内で昼食休憩を挟みながら実証試験施設に到着しました。

同施設は経済産業省の大型蓄電システム緊急実証事業として、平成25年度に関連施設の建設に着手し平成27年12月に完成しました。

○事業概要

- ・275kV基幹系統の南早来変電所にレドックスフロー電池(15MW×4時間容量)を設置しています。
- ・再生可能エネルギーの出力変動に対する調整力としての性能実証および最適な制御技術を開発します。

○実証期間 平成25年度～平成30年度

○実証開始 平成27年12月25日

見学に先立ち、北海道電力(株)総合研究所蓄電システム実証プロジェクトグループ副主幹の松本孝俊様、引き続いて住友電気工業(株)エネルギーシステム企画部蓄電事業グループ主査の井上英介様より、施設全体の説明を受けた後、施設内を見学しました。

見学途中、説明者に質問等が多数あり参加者がこの実証事業に対する関心の高さを感じる有意義な見学となりました。

《レドックスフロー電池の原理と構成》

- ・レドックスフロー電池は、正負極の電解液にバナジウムイオン水溶液を用いた電解液還流型の電力貯蔵用蓄電池です。
- ・電池反応を行うセルスタック、電解液を貯蔵する正負極のタンク、さらに電解液をタンクからセルへと循環するためのポンプ、配管等から構成されています。
※セルスタックとは
電池反応を行う流通型電解セルを複数積層したものをセルスタックと称しています。
- ・動作原理は正負極とも、バナジウムイオンの価数変化により、充放電を行います。
- ・電池システムの構成
電池盤2面(1面あたりセルスタック4台内蔵)、熱交換器盤2面、電解液タンク2基、ポンプ2台、および配管により、電池の最小単位(モジュール)を構成します。
- ・5組のモジュールと交直変換装置(PCS)により、出力制御の最小単位(バンク)を構成し、電池システムは13バンク(65モジュール)から構成します。



～シリーズ～ 「私のいちおし」

橋本電気工事(株)

専務取締役 橋本 佳明

新春を迎え心よりお喜び申し上げます。

この度、「私のいちおし」をご紹介させて頂くお店ですが、中央区にございます。

旬とお酒「崇」(タカ)であります。実を申しますと、こちらのお店に通い始めましたのも、あるお店で女将さんの久末様とお近づきになり「気さくで」「優しく」「気立ての良い美人女将さん」でしたので是非一度、どの様な感じのお店なのか確かめて見たくなり、恐る恐る来店させて頂きました。



お店専用入り口を開け3階に上り店内に入ると「隠れ家」の様でも有り「BAR」の様にも感じられるお店でした。

店内の窓からはオフィスビルと枝葉が見え、やや目線を下に落とすと帰宅するOLやサラリーマンが足早で歩いている様子が見える場所にありました。

料理長は以前、居酒屋・焼肉店等に勤めており、色々な部位の肉を切り分け料理を提供していたと伺いました。自慢はやはり牛肉のタタキや冬の時期は、もつ鍋等がおすすめと女将さんが太鼓判を押す程でした。是非、ご堪能してみてもは如何でしょう？

こちらのお店では、おつまみ3品付ドリンク2杯の「ちよい呑みセット」等をよく注文して頂い



てます。こだわりのお酒は、鹿児島直送の焼酎でした。ロックグラスには女将さんのこだわりのある薄いグラスを使用。唇に触れる感触がないままお酒が口の中に広がります。

働き者の女将さんはお昼時には、たい焼きとおにぎり「桜」のお店も経営し本人自ら店に出て、たい焼きを焼いていました！！

昨年では、テレビ番組の(ホットサンド)でお店を紹介されるなどしてお客さんも徐々に増えているようです。また新聞にも掲載され人気上昇中！！お近くに立ち寄った際はご賞味してみてもは如何でしょう？



美人女将の久末さん

【旬とお酒「崇」】

札幌市中央区北2条西1丁目8番地4
青山ビル3F TEL522-5003
(営業時間 17時～22時30分)

【たい焼きとおにぎり「桜」】

札幌市南区澄川4条2丁目2-18
佐藤ビル1F TEL799-1090

現場からこんにちは



工事名称：社会資本整備総合交付金事業道道西野
真駒内清田線（盤溪北ノ沢トンネル）
道路照明設備新設工事

工事場所：札幌市中央区盤溪508番地ほか

工 期：平成28年5月30日～

平成29年1月27日

発注者：札幌市建設局土木部道路設備課

施工業者：北明電気工業株式会社

工事概要：盤溪北ノ沢トンネル 2.8km（トンネル部：1.6km、一般部：1.2km）に伴う、道路照明設備・トンネル照明設備の新設工事

今回取材をさせて頂きました、盤溪北ノ沢トンネルでは現在『受変電・電源設備新設工事』を北電力設備工事㈱・『防災情報設備新設工事』を協信電気工業㈱・『道路照明設備新設工事』を北明電気工業㈱当協会員3社にて施工を行っております。今回は道路照明設備新設工事において、監理技術者を務めておられる北明電気工業㈱直井 康伯さんに取材し、お話を伺いました。

当該工事現場の主要道道西野真駒内清田線は、西区の旧国道5号線を起点とし中央区盤溪、南区真駒内を經由し、豊平区福住に至る総延長約24kmの札幌市の道路ネットワークを形成している幹線道路です。

この路線の中間に位置するこばやし峠区間（中央区盤溪～南区北ノ沢）は、急勾配・急カーブが連続し特に冬場において、路面が凍結することと積雪により道路幅が狭くなるなど道路環境の悪化

が著しい区間でありました。これらの問題を解消し、冬期間でも安全で円滑な交通を確保する目的から、トンネルを含む道路整備を札幌市が行っているところでもあります。

当該工事現場では、トンネル舗装工事、電気・設備工事、トンネル前後区間の道路工事関連業者を含め、総勢11社の工事会社にて現場施工が行われております。このうち道路関係工事でも5社が常に輻輳しながら作業を行っているため、各工事業者間との作業工程調整・作業区画規制を綿密に打合せし、当日の現場の変則的な状況を把握した上で、自社作業工程・区画規制を検討し、安全に作業を進行するのに大変苦心いたしました。

現場進捗状況は10月末時点で55%、11月の取材時にはトンネル照明機器184台、接続道路照明2基、道路照明15基の設置を終了し、11月末時点で80%の進捗を目指しているところでありました。今後は12月末の受電と点灯試験に向け照明盤の設置及びケーブルの接続作業を日々進めております。

これから冬期間の作業になりますので、竣工までの期間、無事故・無災害にて施設が完成することを祈願し、トンネル開通時には設置されたLED照明で明るく照らされたトンネルを市民の皆様が快適に通行するのを待ち遠しく思う所です。

最後になりますが、このたび竣工間際の多忙な時期にも関わらず、取材に快くご協力頂き、大変感謝しております。本当にありがとうございました。

取材 広報委員 木村 賢史、大塚 雅史



北明電気工業㈱ 監理技術者 直井さん

厚生委員会行事報告

歌唱部会



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

歌唱部会長になり、アツとゆう間の8年が過ぎました。これも会員方々のご協力の賜と感謝、御礼申し上げます。



さて会員数は40名程ですが、毎回20名程の参加を頂いています。歌唱部会は年4回（5月・8月・11月・2月）開催しております。



午後5時から2時間程、楽しい時間を過ごしています。参加者の皆さまから毎回3,000円程の会費で、軽めの食事と美味しい珍しいお酒を用意しております。

歴史ある歌唱部会のメンバーの中には、プロ顔負けの歌唱力・芸達者な物まね・替え歌など多彩なパフォーマンスが



あり、2時間ほどですが、アツと言う間に過ぎてしまうほど楽しい会です。

是非、他の会社の人達とコミュニケーションや親交を深める場として続けて行きたいと思います。

部会の様子はスナップ写真で想像して頂けたらと思います。

参加者全員が思いおもいに1曲は歌えますし、肩肘張らないメンバーばかりです。



是非、会員以外の方にも、声を掛けて頂き参加を促してもらえれば幸いです。楽しい会を継続するため、スタッフ一同努力して行きたいと思いますので、ご協力お願い申し上げます。

歌唱部会長 向平 義美（株北弘電社）

スタッフ一同

ボウリング部会



今年度最後となります第3回目のボウリング部会が、10月28日（金）にノルベサにて開催されました。

今回は協信電気工業(株)の三好さんが初参戦となりました。さて、ボウリングの実力は如何に?! 初参加ですので緊張もあったものと思われま。しかし、実力は未知数、次回に大いに期待です。

そんな中、今回の優勝者は、北海電気工事(株)の二宮さんです。(1G136 2G145 HD13) 準優勝者は、(株)北弘電社の友重さんでした。(1G138 2G150 HD6)

お二人とも大変安定したスコアで、常勝の余裕漂う勝利のように感じました。



第3回優勝者の二宮さん（左） 藤井部会長（右）

ボウリングの後は、いつもの「北海しゃぶしゃぶ」に会場を移し、美味しいラムしゃぶとお酒で、皆さんお待ちかねの楽しい懇親会・表彰式でした。

月末の金曜日の夜にもかかわらず25名と大勢の

方に参加していただき、とっても賑やかな会となりました。

皆様のご理解・ご協力のもと、今年度のボウリング部会を無事に終えることが出来ましたことをこの場をお借りして、会員の皆様に心から厚くお礼申し上げます。この部会が皆様の交流の場として、少しでも尽力できたのなら幸いに思います。

来年度も会員間の貴重なコミュニケーションの場として、この部会がお役に立てればと思います。

ご多忙とは存じますが、次年度も会員皆様の多数のご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。

ボウリング部会幹事

畑 千寿代（北盛電設(株)）記

平成28年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成28年10月28日(金)開催

| 順位 | 氏名 | 1G | 2G | 1Gハンデ | トータル | 会社名 |
|-----------|-------|-------|-----|------------|------|-------------|
| 優 | 二宮 進 | 136 | 145 | 13 | 307 | 北海電気工事(株) |
| 準 | 友重 陽介 | 138 | 150 | 6 | 300 | (株)北弘電社 |
| 1 | 吉岡 秀雄 | 141 | 123 | 16 | 296 | 弘和電気(株) |
| 2 | 下屋敷 卓 | 118 | 147 | 14 | 293 | 末廣屋電機(株) |
| 3 | 畑 千寿代 | 123 | 89 | 40 | 292 | 北盛電設(株) |
| 4 | 鈴木 雅博 | 129 | 158 | 0 | 287 | 振興電気(株) |
| 5 | 鈴木 周平 | 112 | 112 | 30 | 284 | 北電力設備工事(株) |
| 6 | 大塚 雅史 | 97 | 124 | 30 | 281 | 北盛電設(株) |
| 7 | 嶋田 幸規 | 138 | 118 | 11 | 278 | (株)北弘電社 |
| 8 | 小林 勇治 | 109 | 161 | 3 | 276 | 三共電気工業(株) |
| 9 | 坂本 淳 | 122 | 94 | 30 | 276 | 北海道クツツ電気(株) |
| 10 | 内田 勝久 | 117 | 118 | 17 | 269 | 北海電気工事(株) |
| ハイゲーム賞 | | 小林 勇治 | | 三共電気工業(株) | | |
| 平和賞 | | 鈴木 周平 | | 北電力設備工事(株) | | |
| 大波賞 | | 十日市 樹 | | (株)北弘電社 | | |
| ブービー賞 | | 細野 隆平 | | 橋本電気工事(株) | | |
| ブービーメーカー賞 | | 三好 充博 | | 協信電気工業(株) | | |

ゴルフ部会



新春を迎え心よりお喜び申し上げます。旧年中は会員の皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。

長期にわたり努めて頂いた前任の豊ゴルフ部会長の熱い後押しを頂き、昨年6月より厚生委員会ゴルフ部会長の拝命を受けさせていただきました。



第1回優勝者の住本さん（左）山口副会長（右）

ゴルフのルールも疎い私で良いのだろうかと思いつつ1年間無事に事業を終える事が出来ました。部会の皆様にも様々な点でご協力を頂き、ま

た支えて頂きました。

引き続きご指導を頂きながら和気藹々とした、ゴルフ部会にしたいと思います。



第3回優勝者
三好さん
(株)札幌機電工業所

平成29年度もゴルフ部会を通じて会員の皆様方が楽しんで頂き親睦が図られ、またゴルフ競技を起点に会員の皆様の信頼関係の構築を図って頂きたいと思えます。

平成29年度ゴルフ部会事業に会員皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

ゴルフ部会長 橋本 佳明 (橋本電気工事株)



第2回優勝者
室野さん
北海道富士電機(株)



第4回優勝者
脇坂さん
(株)北弘電社

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(平成28年7月1日付)
○サンワコムシスエンジニアリング(株)
北海道支店
(新)支店長 山崎 裕司
(旧)支店長 大竹 央典

(平成28年10月1日付)
○振興電気(株)北海道支店
(新)支店長 山上 幸夫
(旧)支店長 浦本 泰男

(平成28年10月1日付)
○浅海電気(株)札幌支店
(新)支店長 栗原 健治
(旧)支店長 松澤 祥二

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成28年10月27日(木) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 平成29年度 電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 役員候補の選任に係る対応(案)について
3. 平成28年度検討課題に係る総務委員会の審議結果について
 - ① 当協会50周年記念事業への取組みについて
 - ② 会費規定運用細則付則5「平成29年度以降の会費見直し」について
4. 平成28年度経営者懇談会の運営(案)について
5. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(職務の執行状況)について
6. 「建設産業ふれあい展」イベントメニューの追加について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成29年度 電気賀詞交歓会について
2. 企業会員の代表者変更について
3. 平成28年11~12月行事予定について
4. その他意見交換会
以上概要を報告(宇野専務理事)。

◇平成28年12月6日(火) 16:30~17:30

第5回議題

【協議事項】

1. 平成28年度役員会等主要行事の日程変更について
2. 定時総会までの協会主要業務スケジュールに
3. (-社)北海道電業協会 中間経理報告(平成28年度上期決算)について
4. 役員改選に係る候補者選任について
5. 平成27年度 会員大会決算報告について
6. 平成28年度「建設産業ふれあい展」への参加について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成29年電気賀詞交歓会について
2. 平成28年度 経営者懇談会・セミナーの開催結果について
3. 平成28年12月～平成29年1月行事予定について
4. その他意見交換会
以上概要を報告（宇野専務理事）

|| 三 役 会

◇平成28年10月17日(月) 12:00～13:30

第7回議題

1. 北海道開発局と電気・空衛連絡協議会との意見交換会の開催について
2. 平成28年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催について
3. 定款第21条第5項の規定に基づく報告（職務の執行状況）について
4. 平成28年度 経営者懇談会及びセミナーの運営（案）について
5. 当協会50周年記念事業に係る総務委員会検討結果について
6. 会費規程運用細則附則5に規定する「平成29年度以降の会費見直し」に係る総務委員会検討結果について
7. 役員候補の選任対応について
8. 企業会員の代表者変更について
9. 平成28年10～11月行事予定について
10. その他意見交換会

◇平成28年11月8日(火) 12:00～13:00

第8回議題

1. 平成28年度 経営者懇談会について
2. 北海道電業協会平成28年度 上期決算報告について
3. 役員改選に係る候補者選定について
4. 平成28年11～12月行事予定について
5. その他意見交換会

◇平成28年12月6日(火) 15:30～16:30

第9回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 協会三役による官公庁平成29年新年挨拶について
3. 北海道開発部と設備工事業4団体との意見交換会の開催について
4. 「建設産業ふれあい展」への参加について
5. 平成28年度 電気賀詞交歓会について
6. 平成28年度 会員大会決算報告について
7. 平成28年度 経営者懇談会・セミナーの開催結果について
8. 平成28年12月・平成29年1月の行事予定について
9. その他意見交換

|| 総務委員会

◇平成28年9月29日(木) 12:00～13:30

第3回議題

1. 創立50周年記念事業に係る検討について
2. 今後の会費徴収の在り方（会費見直し）について
3. 平成28年度 技術系先生との懇談結果を踏まえた対応について
4. その他意見交換

◇平成28年10月11日(火)（書面開催）

第4回議題

1. 平成28年度 総務委員会の事業実施状況
2. 平成28年度 経営者懇談会について

◇平成28年12月12日(月) 16:00～17:30

第5回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 平成28年度 経営者懇談会・セミナー開催概要について
3. (一社)北海道電業協会 中間経理報告（平成28

年度上期決算) について

6. 平成28年度「建設産業ふれあい展」への参加について

経営委員会

◇平成28年12月15日(木) 16:00~17:30

第4回議題

1. 第3回議事録の承認について
2. 本部269・270回政策委員会の概要報告について
3. 平成28年度 経営者懇談会・セミナー開催概要について
4. 平成29年電気賀詞交歓会について
5. 「建設産業ふれあい展」への協力について
6. その他意見交換

の見学会

- ④ 電気設備施設見学会の実施報告
- ⑤ 平成28年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果について
- ⑥ 技術講習会
 - ・あと施工アンカー実技講習会
 - ・第一種電気工事士(技能)講習会
2. 建設産業ふれあい展への参加協力について
3. 平成28年度 安全パトロールについて
4. 平成29年度 技術安全衛生基礎教育講習会(新人研修)の開催について
5. 平成28年度 技術講習会について
6. その他意見交換

広報委員会

◇平成28年12月13日(火) 15:00~17:00

第3回議題

1. 30周年記念誌発行について
2. 会報「春号」の編集方針(案)について
3. 新春特集について
4. 「建設産業ふれあい展」への協力について
5. 会報「冬号」の校正について
6. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成28年10月28日(金) 15:00~17:00

第3回議題

1. 平成28年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会の講義ポイントについて

◇平成28年12月8日(木) 15:00~17:00

第4回議題

1. 実施報告
 - ① 平成28年度 安全大会の開催概要
 - ② 平成28年度 札幌市電気設備施工研修会
 - ③ 技術系学校の先生との懇談会および生徒と

事務局日誌

- 10月12日(水)・建設産業ふれあい展会議
(道庁別館)
宇野専務理事・類家事務局長
- 15日(土)・公共建築の日フェスティバル2016モエレ
(モエレ沼公園ガラスノピラミッド)
宇野専務理事
- 17日(月)・第7回三役会議
・北海道開発局営繕部との意見交換会
(電気・空衛連絡協議会)
(北海道電気会館) 大房会長他
- 20日(木)・電設協本部会員大会
(岡山) 大房会長他
- 25日(火)・北海道建設業審議会
(かでの2・7) 大房会長
- 27日(木)・第4回理事会・常議員会
- 28日(金)・第3回技術安全委員会
〃・第3回ボウリング部会(ノルベサ)
- 29日(土)・基幹技能者認定講習会
- 30日(日)・〃(電気会館)
- 11月8日(火)・第8回三役会議
・経営者懇談会・セミナー
(札幌グランドホテル)
- 15日(火)・第336回本部政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 19日(土)・第一種電気工事士技能講習会
- 20日(日)・〃
(北海電気工事(株)) 類家事務局長
- 24日(木)・本部理事会(東京) 大房支部長
- 25日(金)・第3回歌唱部会(ナイトバンク)
- 30日(水)・新春特集取材
(グランドホテルニュー王子)
萩本広報委員長他
- 12月1日(木)・札幌商工会議所設備工事部会
(ホテル芸文館) 宇野専務理事
- 12月2日(金)・本部基幹技能者認定委員会
(東京) 類家事務局長
- 6日(火)・第9回三役会議
・第5回理事会・常議員会
(札幌グランドホテル)
- ・本部第270回政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 8日(木)・第4回技術安全委員会
・本部第337回運営委員会
(東京) 大房支部長
- 12日(月)・第5回総務委員会
- 13日(火)・第3回広報委員会
- 15日(木)・第4回経営委員会
- 28日(水)・仕事納め

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

新春号の巻頭言を北海道開発局 営繕部長の清水 侯二様に年頭ごあいさつをいただきました。今後とも、ご指導ご鞭撻をいただきたいと思います。

また、新春特集として、アイススレッジホッケー日本代表キャプテンの須藤悟さんへのインタビューを企画いたしました。

2018平昌パラリンピックへの出場権をかけての闘いが今後始まりますが、予選を勝ち抜き本戦でのメダル獲得にむけての奮闘を期待しております。

さて、昨年10月末、我が「北海道日本ハムファイターズ」が10年ぶりの日本一に輝き、台風に翻弄された北海道上空の暗い雲を吹き飛ばし、大いに溜飲を下げることができました。

Max11.5ゲーム差をもろともせず、諦めず粘り強く取り組んだ姿勢は、北海道民に大きな希望を与えてくれたことでした。

果たして二連覇なるか？大逆転のペナントレースも見応えがありましたが、今年はまだもう少し落ち着いて時の流れをゆっくり感じたいものです。

頑張れ「北海道日本ハムファイターズ!!!」

広報副委員長 小笠原 憲生



発行 平成29年1月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp